



## 町制60周年以降の主な町のあゆみ

### 平成27年（2015）

- 5月 舟形町議会基本条例施行
- 6月 新庄最上定住自立圏形成協定締結
- 9月 ふながた若鮎まつり、直前の豪雨の被害を受けるも復旧し開催
- 10月 舟形町人口ビジョン・総合戦略策定
- 12月 旧堀内小学校解体工事完了

### 平成28年（2016）

- 2月 平成27年分ふるさと納税での米の返礼品の量が全国で最多と報じられる
- 4月 障がい者支援施設「光生園」が舟形第4地内に移転

### 平成29年（2017）

- 4月 長沢集学校オープン  
日本一のおいしい給食食育推進事業開始
- 8月 西ノ前遺跡公園「女神の郷」開園

### 平成30年（2018）

- 2月 堀内地区で積雪深300cmを越える豪雪  
舟形若あゆ温泉リニューアルオープン
- 4月 町営バスが廃止され、デマンド型乗合タクシーが全町に運行開始
- 8月 第1回鮎釣り甲子園大会開催  
豪雨災害、最多で444名が避難所に避難

### 平成31年～令和元年（2019）

- 4月 舟形クリニック開院  
各町内会で町内会びじょん策定

### 令和2年（2020）

- 2月 舟形町国土強靱化地域計画策定（山形県内で初の計画策定）
- 3月 新型コロナウイルス感染症対策本部設置
- 4月 第7次総合発展計画に基づく町政が開始  
各地区（旧小学校区）で地区びじょん策定
- 7月 令和2年7月豪雨により最上川が氾濫

### 令和3年（2021）

- 3月 舟形町防災センター完成  
舟形町福祉避難所「てとて」完成  
舟形町デジタル化推進計画策定
- 5月 新型コロナウイルスワクチン集団接種開始

### 令和4年（2022）

- 1月 舟形町農業ビジョン策定
- 3月 太郎野地区避難用道路完成
- 6月 リニューアルした舟形町公式ホームページが「総務大臣賞」と「読売新聞社賞」を受賞
- 9月 新しい生活様式に対応した、食の祭典ふながた若鮎まつり開催

### 令和5年（2023）

- 6月 寺下地区排水対策完成
- 8月 港区と交流50周年、災害時相互協力協定を締結

※町制施行からの主な歴史は、お知らせ版「舟形町のあゆみ」で連載しています。

▼問い合わせ／舟形町まちづくり課企画調整係 ☎(32)0104



日本一のおいしい給食食育推進事業



西ノ前遺跡公園「女神の郷」



令和2年7月豪雨（堀内地区）



福祉避難所「てとて」



寺下地区排水対策



合併前の堀内村役場（右は郵便局）



合併前の舟形村役場

昭和28年10月、行政効率を高め、住民の福利を図るためには、町村の規模は8,000人以上であることが理想的であるという理由から、町村合併促進法が施行されます。これを受けて山形県でも基本計画を策定し、舟形村、堀内村の両村でも合併に向けた検討が進められ、翌昭和29年に合併し、舟形町が誕生します。なお、合併時の町内の世帯数は1,990戸、人口11,880人です。

2つの村が合併  
舟形町の町制施行70周年を迎えるにあたり、舟形町の誕生について、少し振り返ってみます。  
舟形町は明治23年から64年間、立地条件の違いなどの理由から、舟形村と堀内村にわかれています。

### 2つの村が合併

昭和29年12月1日、舟形村と堀内村が合併し、舟形町が誕生しました。

# 舟形町は今年、町制施行70周年を迎えます。

44人と、町報舟形「創刊号」に記載があります。

誕生当時の舟形町は、近代産業の基幹となる石油、亜炭を保有する町として、山形県からも期待されていました。



町章

舟形の「舟」を図案化したもので、町の融和と平和を意味し、輪郭は、ダイヤを型どり地下資源と合わせて町の繁栄を象徴したものです。

### 10年間のまちづくり

この10年間、舟形町では特に町民のみなさんが安全で安心な暮らしのためにまちづくりがすすめられました。近年の激甚化する災害や、世界中でまん延した新型コロナウイルスへの対策などの困難な課題に対し町ぐるみで取り組み、一つひとつ乗り越えてきました。町防災センターや福祉避難所「てとて」の建設といったハード面での整備に加え、舟形町国土強靱化地域計画の策定などを行いました。

さらに、未来を担う子どもたちの愛郷心を育む事業の一つとして、日本一のおいしい給食食育推進事業を開始しました。この事業では、町内産の農産物などを生かした給食を提供しています。



最上小国川（一の関大橋より）

町制施行70周年を迎える舟形町。これからは社会情勢の変化に対応しながら、持続可能なまちづくりを目指していきます。

